

体験活動参加型＋講演会型（小学校）

学校名等	輪之内町立福東小学校
実施日時	平成28年7月7日（金） 5時限（13:45～14:30）
会場	福東小学校 3階 家庭科室
参加人数	児童 20人 保護者 20人 教員 2人
学習課題（分野）	1年生親子歯みがき教室
運営者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯が抜け、永久歯が生え始めるこの時期に、6才臼歯の特徴や役割を知り、口腔衛生に興味をもってほしい。 ・児童が自分の歯や口腔の様子を知り、親子で歯みがきの仕方を含めた生活習慣の改善を図りたい。 ・保護者に中学年程度までの仕上げみがきの必要性を訴えたい。

学 習 の 内 容

<具体的な活動>

講師：歯科衛生士 二村 栄子 先生

1 6才臼歯の場所を確認しよう

鏡を使い、6才臼歯の場所を確認し、生えているかどうかを確かめた。6才臼歯は、大人の歯の中で、「1番大きい歯」、「噛む力が強い歯」、「かみ合わせのもとになる大事な歯」であること、6才臼歯が生えた子はむし歯にならないように歯をみがくことが大切であることを指導していただいた。

2 染め出しを行って、6才臼歯を上手にみがこう

綿棒を使って染め出しを行った。児童たちは、保育園の時から歯科指導を受けているが、1人で塗るのは初めてで、鏡をみながら一生懸命口を開けて塗っていた。

その後、みがき残り箇所を親子で確かめた。6才臼歯は、完全に生えるまで2年くらいかかるので、隣の歯よりも背が低い。横から歯ブラシをいれて、王様のように「エッヘンのポーズ」でみがく「王様みがき」を教えていただいた。また、保護者の方には、児童がみがきにくい箇所の仕上げみがきをお願いした。仕上げみがきは、3年生（歯の生え替わりの多い時期）までは続けるようにとの指導もあった。



3 歯ブラシの交換時期について

毛先が広がっていると、うまく当てても歯垢を落としにくく歯肉が傷付く原因になるため、児童の歯ブラシを確認し、新しいものとの交換を促していただいた。力を入れなくても歯垢は取り除けるので、軽い力で細かく動かす磨き方を教えていただいた。

4 ジュースやアイスの砂糖の含有量について

夏場は、冷たくて甘いアイスクリームやジュースを口にする機会が増える。おやつやジュースにはたくさんの砂糖が含まれていること、酸も強いので歯が解けやすいこと、そのため時間や量を決めて摂ることを指導していただいた。

<保護者の感想より>

- ・染め出しをして、噛み合わせの部分や前歯の上の方、歯と歯の間にみがき残しがあることが分かったので、家でも仕上げみがきをしていきたい。
- ・歯ブラシを噛む癖があってすぐに開いてしまうので、正しいみがき方をするよう気をつけ、交換をこまめにしていく。

<実施後の変化>

会の終了後、早速保護者の方が歯ブラシ交換を希望され、意識の高まりが見られた。

給食後の歯みがきでは、「王様みがきをしようね」「どういう持ち方するんだった?」と声をかけると、多くの児童が「あ、そうだった!」と授業を思い出して、正しいみがき方をするようになってきた。



歯科衛生士さんの専門的なお話を伺い、保護者が、6才臼歯の大切さを理解し、今はもちろんのこと、3年生まで仕上げ磨きが必要なことを認識するよい機会となった。



ひざの上に頭を乗せたり、向かい合って顎や額に手を当てたり、親子でみがくことがスキンシップのよい機会となった。みがき終わった後も、一つの鏡を覗き込みながら、会話が弾み、会場が和やかな雰囲気につつまれた。